

映像制作における一連の工程を通したスキル修得

産業能率大学 情報マネジメント学部 川野邊研究室 3年 森谷 亮太 指導教員:川野邊 誠

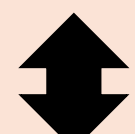
活動概要

活動背景

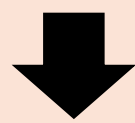
高校時代に心を動かされた映像作品があり
それをきっかけに映像そのものに興味を持つようになった
自分で映像を制作し、人の心を動かしたいと考えようになった



映像制作の工程は、企画、撮影、動画編集で構成されており
各工程が有機的に結びつくことで
視聴者の心に届く映像作品が生まれる



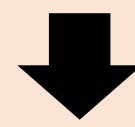
現時点で、映像制作の各工程に関する知識や動画編集の
実践的技術を十分に身につけていない



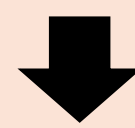
映像制作における全体工程の理解と制作スキルの修得を目指し
企画から編集までを一貫して自ら行う力を養う必要があると考える

活動手法

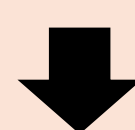
書籍「世界一わかりやすい動画制作の教科書」を
用いて映像制作の企画、撮影、動画編集など
映像を構成する各要素について理解



制作する映像の企画を立て、テーマに沿って
必要な情報を収集する下調べを行い構成を考える



構成に基づいて撮影台本を作成し映像の構成や
カット割りを視覚的に整理するための画コンテを描く



画コンテをもとに撮影を行い
最後に撮影した映像を編集する

活動目的

本活動では、企画、撮影、動画編集という一連の流れを自らが
担うことで各工程に必要な知識と技術を実践的に学び、修得する

期待効果

映像制作の一連の工程を実践的に学ぶことで全体を俯瞰する力や
編集技術、企画の意図を反映する力の修得が期待できる

工程理解に使用している書籍

小島真也、世界一わかりやすい動画制作の教科書
株式会社技術評論社、2022.



学修成果

映像制作の工程

企画立案



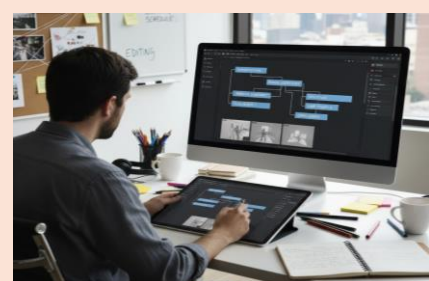
- コンセプト決定
- 企画案をもとに内容を具体化

下調べ



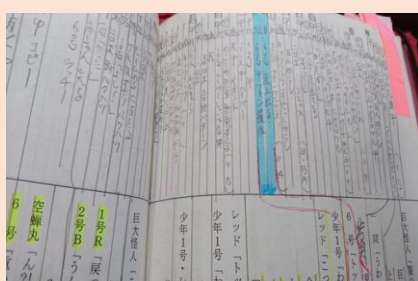
- テーマに関する資料収集
- ヒアリング、取材、調査
- 撮影場所の確認

構成案



- 全体の流れづくり
- 下調べで、得られた情報をもとに動画の大まかな筋書を構成

撮影台本



- 撮影するための設計図
- 台本は映像やストーリーを具体的に明記
- 撮影順序の決定

画コンテ



- カットのイメージスケッチ
- 構成、テロップ、動きのメモ
- 撮影台本を、画、文字、説明で視覚的に具体化

撮影



- 画コンテに沿ってカメラ、スマホで撮影
- 照明、構図の調整
- 撮影素材の整理

編集



- 試写と修正
- 音声の整音と編集
- 納品

映像制作を行う上で大切な要素

3T

- Thema (制作する動画の主題)
- Target (想定する視聴者)
- Timely (時代、社会の流れにあった内容)

5W2H+1T

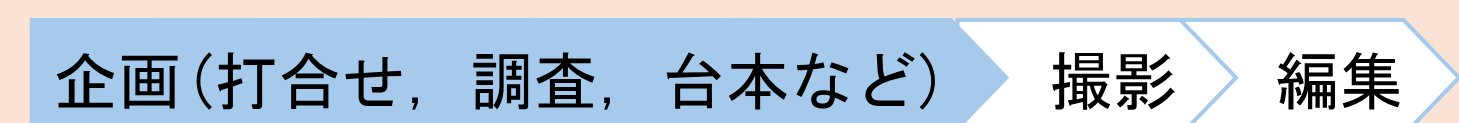
- What (動画の題材)
- Why (制作する動画の目的)
- Who (想定するターゲット)
- When (公開、発表、制作期間のスケジュール)
- Where (収録場所、公開場所や発表媒体の設定)
- How (映像形式、収録方法、編集方法などの手法)
- How much (制作に必要な費用)
- Time (完成動画の総再生時間)

制作工程の配分

■ 非効率な例



■ 理想的な例



今後の予定

- 企画、撮影、編集の工程を通した映像制作を行う
- 書籍で学んだ内容を、アウトプットとして映像制作に反映させ実践的に技術を修得